

2021.8.29.オンラインセミナー

# バードアイ 「鳥瞰読解 トレーニング」

教育エジソン 山崎茂雄  
都立高校主幹教諭（国語科）  
学校心理士スーパーバイザー 上級教育カウンセラー  
ガイダンスカウンセラー



1

## 自己紹介



- 多くの「できない」劣等感に悩む少年時代  
中学2年「自律訓練法」と出会う
- 作家への腰かけとして高校教諭（国語）に  
初任校（工業高定時制）で学級崩壊  
→自律訓練法によるイメージ瞑想を習慣化  
→ポジティブ教師に変貌（夜間定2校、全日普通科）
- 大学院派遣研修 東京学芸大学（教育心理学）
- 「やったらできた」実感できる学習方法＝主テーマ
- チャレンジスクール都立穂ヶ丘高校（前任校）  
開校から学校づくり9年 ○桐ヶ丘高校6年

2

## 教師としての私の原点

ふつうのことができない  
子ども時代

- ×体育が苦手
- ×音楽が苦手
- ×絵が苦手
- ×作文が書けない
- ×発音が悪い
- ×話すのが苦手

劣等感を乗り越える青年期  
（瞑想で発達障害を克服？）

「やればできる」を  
体験するしかけを  
考案・実践

||  
教員としての使命  
ミッション



3

## この研修の目的

バードアイ  
鳥瞰読解トレーニング  
（論理的文章がよくわかる）  
を体験的に理解する

↓

皆様方ご自身が  
学習体験を楽しんで

4

## AIとの競争は、読解力がカギ？

新井紀子氏（2018）の問題提起



- ①シンギュラリティ（特異点）は来ないが、大半の仕事はAIに奪われる
- ②AIの苦手な分野（意味理解）で人間の仕事は残る→その力はあるか
- ③読解力調査（RST）の結果  
高校生の半数は教科書すら読めない

当然

従来の国語の授業では読解力はつかない



5

## 国語授業への疑問 生徒は読んでいますか



- ①問題・発問に答える授業 → 文中から答えを探しているだけ？
- ②説明を聞いてわかる授業 → 自分で読んでわかった！とは違う
- ③ワークシートで考える授業 → 教師の枠組みで穴埋めしてるだけ？
- ④みんなで活動する授業 → 人の発言を聞いてわかった気になる？

どうしたら「読む」頭が働くか

6

生徒が「読む」ように工夫した  
3つの技法 = 「やったらできた」と実感

- ① 説明文(教科書)の組み立てを理解して読む → **箇条書きトレーニング**
- ② 小説を、映画を観るようにかつ深く読む → **カットイメージ・リーディング**
- ③ **論理的文章(社説)の中心主題をつかむ** → **バードアイ 鳥瞰読解トレーニング**

7

うち2つはこちらで

箇条書き  
トレーニング

カットイメージ  
・リーディング



8

バードアイ

鳥瞰読解トレーニング

教室でやってきたこと

新聞の**投書・社説**を読む



**主題文**を見つける

主題文 = 全体で言いたいことを的確に書いている文

9

社説を読んで、  
主題文を見つけよう

教材①

2021.7.17朝日新聞

『熱海の土石流』

10

主題文を見つけるには？

文章を区画整理



主題文を見つけやすく

バードアイ

鳥瞰読解トレーニング

11

バードアイ

鳥瞰読解トレーニングの実習

投書「安売りの牛乳  
酪農家泣かす」

主題文(筆者が言いたいこと)  
はどれですか？

12

**主題文(筆者が言いたいこと)はどれですか？**

安売り牛乳、酪農家泣かす  
 国家公務員  
 ① 酪農家泣かす  
 ② 酪農家泣かす  
 ③ 酪農家泣かす

パートアイ

**鳥瞰読解トレーニングの基本手順**

- 1) 文章の区画整理  
 事実と意見を区別し事実を囲む
- 2) 空から見る鳥のように  
 事実と意見の関係を見渡す
- 3) 主題文(筆者の主張)を見つける

パートアイ

**鳥瞰読解の手順**

安売り牛乳、酪農家泣かす  
 国家公務員  
 ① 事実を囲む  
 ② 主題文候補に傍線を引く  
 ③ 主題文を確定し、○

パートアイ

**鳥瞰読解トレーニングの実習**

教材②「勉強したい子供が目輝く」  
 手順に従って作業してみよう

パートアイ  
**鳥瞰読解の例**

「勉強したい」子供が目輝く  
 大学生  
 先日はあんなに勉強を見ていて、カシオやヤンダネシアなどの勉強用品を学校に持って来た子供たちの表情を知った。子供たちは、学校へ通えなくなったのは、食事も酒も取れず、住む場所も簡単に小販のまじりかただった。それなのに、勉強が大好きな子供たちだ。学校生活のために学校に通って勉強

**事実か意見か どう判断するか**

- 「事実」とは
  - ① 実際にあった出来事 「～だった」  
 ★噂なども「事実」(～と言われている)  
 「～と思った」も、過去の出来事なら事実
  - ② 自然法則、きまりなど  
 「日本には四季がある」  
 「首相は国会で選ばれる」

## ほんとうに事実か？

「私は不幸だ」「僕は恵まれていない」という  
= 自分が見聞きした出来事？

★「あいまい」でも、「嘘」でも  
「事実」として書いてあれば困む。  
ほんとうに事実かどうかは、次の問題

★まず「事実」と「意見」を区別した上で  
「事実」の質を問う(検証する)ことができる  
= 議論のポイント

鳥瞰読解作業は  
議論の前提づくり

19

## 事実か意見か 別の見方

- 事実と意見の境はあいまい  
例「日本は平和だ」事実？ 意見？  
('日本は戦後、戦闘をしたことはない'=事実)
- 抽象レベルの差 = 「正解」はない  
→「どう困めばわかりやすいか」で決める  
= 主体的に考える
- 鳥瞰読解の本当のよさ  
線を引いて、消して、書き直して  
納得いくまで考える = 脳がフル回転

20

## 鳥瞰読解の手順で 再び社説にチャレンジ

教材①  
2021.7.17朝日新聞  
『熱海の土石流』

21

## 鳥瞰読解のメリット

- 思考プロセスが見える  
本人にも支援者にも  
→生徒自身が自分で考える  
→支援のポイントがわかる
- 学び合いを促す(建設的議論)  
40人クラス、少人数、個別支援

22

## 鳥瞰読解トレーニング 「論理的で説得力のある文章」とは？

性教育 ネット教育を同時に  
大学生 (神奈川県 19)

性の知識は、インターネットの発達により、子どもにもよって大きな差がある。だからこそ、私は性教育を行う年齢を早めるべきだと思う。小学生の低学年ならまだ個々の知識に差は見られず、早めに正しい知識を教えることができる。同時にネットを正しく使いこなすための知識や能力を養う教育を行うべきだと考える。有書サイトを遮断し、過激な情報を見せないようにしても、それは根本的な解決ではないからだ。厳しく性的なものを規制するよりも、基本的な正しい知識を教えたりして、ある程度情報をオープンにして子どもたちが自身に判断させたほうが、健全な性教育につながるのではないだろうか。

23

## 鳥瞰読解トレーニング 論理的で説得力のある文章とは？

○事実に基づいて、丁寧に  
論を展開していく文章

×事実に依らず推論に推論を重ねる文章  
→独りよがり、説得力に欠ける結論

- ※読み手が納得するか？
- ※根拠の検証ができるか？
- ※現実の問題解決に役立つか？

24

代表的な 評論

山崎 正和『水の東西』

時間的な水と、空間的な水  
そういうことをふと考えさせるほど、日本の伝統の中に噴水というものは少ない。せせらぎを作り、滝をかは、池を掘って水を見ることをあれほど好んだ日本人が、噴水の美だけは近代に至るまで忘れていた。伝統は恐ろしいもので、現代の都会でも、日本の噴水はやはり西洋のものほど美しくない。そのせいか東京でも大阪でも、街の広場はどことなく間が抜けて、表情に乏しいのである。

25

国語教育で重視されてきた「評論」とは？

- 事実と意見の区別が不明確
- 推論に推論を重ねて論を展開  
= 読者の共感で支えられている

↓ 「評論」の学習は…

- 現実の問題解決に役立つか？
- 意見文を書く手本にできるか？
- 国際社会に通用する力がつくか？

26

鳥瞰読解トレーニング

どこで実施できるか？

- ① 穂ヶ丘高校(チャレンジスクール)  
1年次必修「国語総合」で実施

評論単元の入口として、新聞投書中心のプログラムを国語科全員で共有実施(2時間)

→ 評論「である」と「すること」(丸山真男)を、鳥瞰読解を応用して読む。

27

鳥瞰読解トレーニング

どこで実施できるか？

- ② 穂ヶ丘高校学校設定科目「小論文」で実施  
III部(夜間)の生徒たちも活発に議論
- ③ 豊島高校(全日制普通科)  
選択科目「現代語」(旧々学習指導要領)  
小論文学習で実施。40人で対話的授業

↓

「小論文学習」の文脈では、実施しやすいか。

28

「主体的・対話的で深い学び」を実現する集団思考の手順

- ① 個人作業の結果を出し合い、選択肢を整理
- ② 挙手し、立場を表明
- ③ 各立場の理由を述べる
- ④ 立場を変えたいと思ったら表明し、説明する  
↓↑
- ⑤ 意見交換を続ける
  - ・自分の考えをことばで伝えようと努める
  - ・他の人の考えを理解しようと努める

29

主体的な学びを促す学習課題

= 対話の前提

- 鳥瞰読解トレーニング
- カットイメージ・リーディング
- 箇条書きトレーニング
- ① 誰もが自分なりに深く読み、自信を持って参加できる
- ② 正誤よりもプロセスを共有できる

30